

# 平成 29 年度

## 市民と議会をつなぐ意見交換会

### 「高校生との意見交換会」

## 報告書

---

開催日 平成 29 年 10 月 28 日（土）

開催会場 三原市議会議事堂

#### 開催内容

第 1 部 高校生議会  
（三原青年会議所主催）

第 2 部 高校生との意見交換会  
（三原市議会主催）

1 班 総務財務委員会	広島県立三原高等学校 「郷土愛あふれる三原にするために」
2 班 駅前東館跡地活用調査 特別委員会	広島県立三原東高等学校 「三原市の中心市街地を活性化させるために」
3 班 経済建設委員会	広島県立総合技術高等学校 「人材の「地産地消」～陸海空の交通利点を活かして～」
4 班 厚生文教委員会	学校法人山中学園如水館高等学校 「若者が住みやすい街へ～Uターンへの後押し～」

---

## 三原市議会

# 高校生との意見交換会 報告書

開催日	平成29年10月28日(土)	12時50分から13時40分	
開催場所	三原市議会議事堂1階議場	参加人数	7人
班・班員	1班 ※別表のとおり	学校名	広島県立三原高等学校

## 【意見交換会】テーマ「郷土愛あふれる三原にするために」

### (総務財務委員会)

	参加した高校生の意見など	議員からの意見・助言など
意見交換	祭り等(企画)を、主体的にやってみたい。	祭り(イベント)作りに参加したいか?
	主体性をもって自分たちでやってみたい。	イベントは大人が作ったものに乗っかるのか、自分たちが一から作って見ないのか?
	イベントを使って若い方(大学生)などが、三原に帰ってくるような繋がりを作りたい。	伝統イベント VS 自分たちイベント そんなイメージか?
	意見交換会に参加した三原高校生のうち7人(全員)参加希望。	三原応援隊が結成されたら参加したいか?
	情報が入ってこない。学校が窓口になって欲しい。	議会にも直接要望を言ってもらってもいい。遠慮なく。
	あまり見ない。市の情報発信については、YouTubeやインスタグラムなどもお願いしたい。	市の広報誌等はあるか?
まとめ	<p>高校生側からは、三原の魅力について、それを感じていない人や知らない人が多数いるような気がする。よって、三原の魅力再発見、郷土愛を育むためにも、自分たち高校生も、仮称「三原応援隊」を作り主体的に係わっていききたいとの声があった。</p> <p>また、議員側からは、アンケートによる聞き取りやイベントクーポンのアイデアがよかった、主体的にイベント作りに参加したいという気持ちを大切にしてもらいたい、資金援助等についても、遠慮なく議会の方に要望して欲しい等、若い人たちと一緒に三原の魅力づくりをしていきたいと応じた。</p>	

# 高校生との意見交換会 報告書

開催日	平成29年10月28日(土)	12時50分から13時40分	
開催場所	三原市議会議事堂2階	参加人数	5人
班・班員	2班 ※別表のとおり	学校名	広島県立三原東高等学校

## 【意見交換会】テーマ「三原市の中心市街地を活性化させるために」 (駅前東館跡地活用調査特別委員会)

	参加した高校生の意見など	議員からの意見・助言など
意見交換	三原市民が駅前にどのような施設を望んでいるのか駅前でアンケートを行った。結果は、どの世代でも映画館を中心とした娯楽施設を望む声が多いことが分かった。	中心市街地活性化計画に映画館の設置があったが、補助が減額されたことで前に進んでいないのが現状である。
	若者が近隣市町に遊びに行くのも上記の要因が大きく、一日楽しめる場所が三原市にはない。また、公園等で遊びたくてもボール禁止の公園が多く、身体を動かせる場所もない。	一日遊べる場所と言われたが、福山市に行く交通費が別にかかると思うが、それでも行くのか。また、福山駅から交通手段がないのではないかと。(※シャトルバスが出ているそうだ。)
	放課後などに友人と時間を潰せる場所(お話できる場所)があればいいが、現状ではファーストフードか、カラオケしか三原にはない。	三原市の現状では、中高生の居場所がないので議会としても課題と捉えている。そこで児童館などはどうか。
	女子はショッピングに他市へ行く。理由は、同じ場所に多くのお店が集まっているからである。男子は比較的ショッピングに行く機会が少ないが、行くとすれば広島が多い。	

まとめ	<p>今回の意見交換会では、議員が高校生の純粋な意見を吸い上げるために議員から意見や助言をするのではなく、高校生に素直な意見がでやすいように配慮した。</p> <p>結果は上記のとおりで、三原市には高校生が放課後や休日に遊べる場所や、ゆっくりお話ができる場所が少ないことから、他市に遊びに行っているという現状が把握できた。</p> <p>また、高校生から三原市の中心市街地を活性化させるための3つの提案があり、その内容は①映画館などの娯楽施設を作してほしい②駅前に立体駐車場を設けてほしい③イオン三原店と地下道で駅前を結び、地下街をつくってほしいであった。</p>
-----	--

# 高校生との意見交換会 報告書

開催日	平成29年10月28日(土)	12時50分から13時40分	
開催場所	三原市議会議事堂2階委員会室西	参加人数	7人
班・班員	3班 ※別表のとおり	学校名	広島県立総合技術高等学校

【意見交換会】 テーマ「人材の「地産地消」～陸海空の交通利点を活かして～」

## ( 経済建設 委員会)

	参加した高校生の意見など	議員からの意見・助言など
意見交換	港と駅の空間を一体化して開発し、この区間を楽しい区間にできないのか。	NTTの敷地があり一体的な開発はできないが、駅前東館跡地に図書館を含めた複合施設を計画し、賑わいの創生を考えている。
	西条や河内の図書館は、マンガや幼児用の本も多数あり、多くの人が集まる場所になっている。多様性を持った楽しい図書館にしてほしい。	どんな図書館になるのか審議中であるが、希望に沿った図書館になると思う。
	駅前に食べ歩きができる場所がもっとほしい。	残念ながら空き店舗が多くなっている。空き店舗を利用して、高校生でもできることを考えてみてはどうか。行政の支援はできると思う。
	三原は交通の要所であり、駅と港が近いことから、港を整備して物流の拠点にしてはどうか。	内港は水深が浅く、大型船が入らないので現在は糸崎港の活用を目指している。
	三原には、有名で求人の多い企業がないので、就職のために三原を離れなくてはいけない。もっと大きな企業を呼ぶことができないのか。	時代は変遷し、企業城下町だった三原も変わってきたが、新たに本郷工業団地を造成し企業を誘致するのでこれからに期待してほしい。
	三原でイベントが色々と実施されているが、身近なものに感じられない。若い人の意見が反映されていないのではないか。	市民参加型で盛り上げることをもう少し考えなくてはいけない。若い人の意見を取り入れていけるようにしたい。高校生で企画運営してもらうことも面白いかもしれない。

### まとめ

- ①陸・海・空の交通網が揃っていることを最大限に利用し、新たな企業の誘致を進め、働き口を増やすことが若者の市外・県外への流出を止めるために必要である。
- ②三原駅と三原港を一体的に開発することで、駅と港区間の賑わい創出を具体化していく必要がある。
- ③三原のイベントは、もっと若者の意見を取り入れ、若者参加型のイベントを増やしていくことが必要である。

# 高校生との意見交換会 報告書

開催日	平成29年10月28日(土)	12時50分から13時40分	
開催場所	三原市議会議事堂1階ロビー	参加人数	7人
班・班員	4班 ※別表のとおり	学校名	学校法人山中学園 如水館高等学校

**【意見交換会】** テーマ「若者が住みやすい街へ～Uターンへの後押し～」

( 厚生文教 委員会)

	参加した高校生の意見など	議員からの意見・助言など
意見交換	<p>過去5年三原市の人口データによると、約2千人減少している。そのうち20歳以下は約800人減少、後期高齢者は約850人増加。三原市に戻る若者が少なく、市外へ進学して戻ってこない。</p> <p>世代別では、20歳～30歳までの人口は、約550人減少。</p> <p>このことについて考えられることは、1. 職場が少ない 2. 娯楽施設が少ないこの2点が改善され、また出産や育児が充実すると、若者が三原市に戻り子どもが生まれ、人口が増加するのではないか。</p>	<p>娯楽施設については、市のアンケート調査によると、指摘のとおり若い年齢層に希望が高い結果がある。職場については、本郷産業団地の造成工事が始まり、雇用が期待できる。</p>
まとめ	<p>①三原城跡・隆景広場の整備 450年祭後の取り組みとして、桜の木、花見のスポット、ダンスなど踊りの競演やコンテストなどを実施してはどうか。</p> <p>②三原すくすくの拠点拡大を。ネウボラのように安心して育児できる環境づくりが必要。</p> <p>③ベビーボックスの開発。山形県長井市の例のような育児スターターキットの配布をしてはどうか。</p> <p>参加した高校生から以上3点の提案があった。賑わい創出につながる意見であり若者が住みよいまちになれば、Uターンへの後押しになり人口増加が期待できる。安心して出産・育児ができる環境が大切であり、若者が住みやすいまちになるようより一層取り組んでいく。高校生7人中6人が卒業後は三原に戻ってきたい、住みたいとの嬉しい返事があった。</p>	

## 別 表

## 意見交換会 班 編 成

班 学校名	1班 (三原高校) 7名	2班 (三原東高校) 5名	3班 (総合技術高校) 7名	4班 (如水館高校) 7名
委員会名	6名 (総務財務)	6名 (駅前東館跡地 活用調査特別)	6名 (経済建設)	4名 (厚生文教)
座 長	正田 洋一	七川 義明	新元 昭	岡 富雄
記 録	高原 伸一	平本 英司	田中 裕規	木村 尚登 宮垣 秀正
発 表 者	中重 伸夫	梅本 秀明	陶 範昭	加村 博志
委 員	杉谷 辰次	萩 由美子	徳重 政時	
委 員	安藤 志保	児玉 敬三	伊藤 勝也	
委 員	高木 武子	寺田 元子	分野 達見	